## 項 目

# 主 要 施 策 · 成 果 · 予 算 執 行 実 績

### 1. 公 債 費

#### 1. 地方債現在高の状況

平成28年度の町債は、主な事業として、地域創造発信拠点施設新築事業等に地域活性化事業債(6億3,160万円)、8月に発生した台風被害の災害復旧に単独災害復旧事業債(1,180万円)及び道路整備事業・消防車両整備事業等に公共事業等債・辺地対策事業債・緊急防災減災事業債など(2億2,970万円)を充当し、その他臨時財政対策債の借入を行い、地方債の借入額合計は10億5,690万円となった。

また、北十勝消防事務組合解散に伴う債務の引き受けを次のとおり行っている。これにより地方債の残高は、対前年度比7.9%の増加となった。

(単位:千円)

		( 1 1 1 1 4/
起債対象事業	借入先	債務引受額
化学消防ポンプ自動車(士幌化学) ※平成27年度導入	士幌町農業協同組合	75, 200
消防団水槽付き消防ポンプ自動車 ※平成26年度導入	士幌町農業協同組合	51, 500

地方債現在高 (単位:千円・%)

	20.7 度为区的 (十四・11) /0/					
年		元利價	賞還額	元利償還額	年 度 末	実質公債費
度	発行額	元金	利子	のうち繰上		
及		元 金	小i 工	償 還 額	現在高	比 率
28	1, 183, 600	638, 528	68, 897	_	7, 430, 670	3. 7
27	967, 700	603, 171	77, 125	_	6, 885, 598	3. 9
26	567, 000	694, 884	86, 776	_	6, 521, 069	4. 7
25	443, 900	773, 627	98, 405	_	6, 648, 953	5. 7
24	459, 000	829, 552	108, 891	_	6, 978, 680	6. 6

# 2. 長期資金償還額內訳

本年度の償還対象事業では、過疎対策事業債(平成16年度)、学校施設等整備事業債(平成3年度)、辺地対策事業債(平成18年度)等の償還が完了となり、平成24年度臨時財政対策債、地方道路等整備事業債、平成25年度辺地対策事業債等の元金が償還開始となった。

本年度の元金の償還総額は、前年度より3,535万7千円増加し、対前年度比では、5.86%の増加となった。

借入先別現在高

(単位:千円)

		政 府 資 金		地方公共団	銀行等	共済組	計	
		財政融資	郵貯資金	簡易保険	体金融機構	政门寺	合 等	日
前年	F度末残高	4, 128, 565	115, 228	36, 817	1, 559, 638	230, 450	814, 900	6, 885, 598
本年	F度発行額	309, 100	0	0	82, 500	379, 900	412, 100	1, 183, 600
償	元 金	359, 663	43, 510	13, 482	92, 000	48, 073	81, 800	638, 528
還	利 子	37, 697	942	816	18, 542	4, 118	6, 782	68, 897
額	計	397, 360	44, 452	14, 298	110, 542	52, 191	88, 582	707, 425
本年	F度末残高	4, 078, 002	71, 718	23, 335	1, 550, 138	562, 277	1, 145, 200	7, 430, 670

※本年度発行額のうち銀行等分については、北十勝消防事務組合解散に伴う債務引き 受け分を含む。

## 3. 短期借入金の状況

平成28年度の歳計現金は、資金需要期(3月期)に資金不足を生じたため、一時借入を行った。資金不足の要因は、建設事業の大きな財源を占める地方債が年度末以

項目	主要施策・成果・予算執行実績
	降(3~5月)に入金となることから、年度末の支払いが増加する時期に資金を必要とした。 一時借入金の借入期間は、前年度比3日間減の40日間、これに伴う支払利子については前年度より借入金額が増加したものの、借入利率が減少したことから前年度比45,411円(22.3%)の減となった。
	<ul> <li>○一時借入金額 600,000千円(前年比 100,000千円増)</li> <li>○借入期間 40日間</li> <li>○一時借入金支払利子 157,808円</li> </ul>